

| | | | |
|--|--|-----|------|
| 研究課題 (テーマ) | 県内定着率と大学院進学率の一体向上および講義科目の学習意欲向上を目指した「授業での県内企業研究紹介」 | | |
| 研究者 | 所属学科等 | 職 | 氏名 |
| 代表者 | 機械システム工学科 | 教授 | 中川慎二 |
| | 機械システム工学科 | 准教授 | 畠山友行 |
| | 機械システム工学科 | 講師 | 木下貴博 |
| 研究結果の概要 | | | |
| <p>大学院進学率を向上させながら、卒業・修了後の県内定着率を向上させることを目的とし、本学大学院を修了後に県内企業に就職した技術者を招き、講義科目内で講演していただいた。2つの科目において、それぞれ別の県内企業技術者を招いた。</p> <p>共同研究を実施中の企業では、企業側の技術者だけでなく、研究に携わる大学院生にも研究内容を紹介していただいた。講義で学ぶ内容と卒業・修了後の業務のつながりについても具体的に説明があり、受講生の学習意欲向上に貢献した。</p> <p>先輩から直接話を聞いたことで、会社選び、進学などの進路検討に役立つ機会となったとの感想が、多くの受講者から寄せられた。</p> <p>大学院での研究や生活、学会発表等についても具体的に提示したことで、進学への意欲を高めることができた。</p> <p>協力していただいた県内企業の認知度を高め、魅力を伝えることができた。しかし、就職先の決定にあたっては地元志向が強く、それを変えるにはいたらない。県内定着率を向上させるためには、より多くの県内企業と協力し、企業の魅力を高め、それを伝えることが必要である。</p> | | | |
| 今後の展開 | | | |
| <p>様々な学内行事へ参加していただいている企業であっても、学生の認知度は必ずしも高くないことが分かった。これを改善していくために、一般の講義も含めた様々な機会に、県内企業の活躍などを伝える活動を継続する。県内企業の魅力を伝える効果は高く、同様の取り組みを続ける。</p> <p>優秀な学生の大学院進学意欲を高め、本学の研究力を向上させる取り組みを進める。さらに、その学生が魅力ある県内企業と出会う場を提供する活動を継続する。</p> | | | |